

2019年ITU無線通信総会(RA-19)への  
対応についての答申概要

## 「国際電気通信連合 (ITU) 無線通信総会 (RA) への対処について」

(平成6年1月24日付け電気通信技術審議会諮問第1号)

国際電気通信連合無線通信部門 (ITU-R) 無線通信総会 (RA) への対処として

(1) RAに提出される勧告案等に対する評価

(2) RAの研究課題の望ましい作業計画

について答申する。

### RA-19概要

- ・開催日、場所: 令和元年(2019年)10月21日～25日、エジプト(シャルム・エル・シェイク)
- ・参加資格: 主管庁(193加盟国)及び無線通信部門セクターメンバー(218メンバー)
- ・主な議題:
  - ① 研究委員会(SG)から提出された勧告案等の承認
  - ② 次研究会期における研究課題案の承認

# SGから提出された勧告案の承認

	SG	文書	勧告名	概要	種別
勧 告 案	SG 5	M.585-7	海上移動業務における識別の割当及び使用	海上移動業務識別（MMSI）採番方法の変更をするもの。	改訂
	SG 5	M.1174-3	450-470MHz帯域における船上通信設備の技術特性	周波数偏位に関する国際的な整合性を図るために、船上通信設備技術特性の変更をするもの。日本提案。	改訂
	SG 5	M.[AMRD]	156-162.05 MHz周波数帯域で運用される自律型海上無線機器の技術特性	落水者救助等で用いられる自律型海上無線機器（AMRD）の送信出力等について、技術特性の策定をするもの。	新規
	SG 5	M.1036-5	RRでIMTに特定された周波数帯でのIMT地上コンポーネント実施のための周波数アレンジメント	WRC-15でIMTに特定された帯域に関する情報の追加、450-470 MHz帯における周波数利用の現状に合わせた削減等を行うもの。	改訂

RR : Radio Regulations (無線通信規則)

IMT : International Mobile Telecommunications

# SGから提出された決議案の承認（1）

## SGから提出された主な決議案

	SG	文書	決議名	概要	種別
決議案	SG1	決議54-2	短距離無線通信機器（SRDs）の調和を達成するための研究	SRDsに関する研究、並びに、世界的又は地域的調和のための周波数に関する決議であり、今会期中の関連勧告の改訂・策定を受けて改訂するもの。	改訂
	SG1	決議61-1	世界情報社会サミットの結果を実行する際のITU-Rの寄与	世界情報社会サミットに関するITU-Rの活動に関して規定する決議であり、2018年全権委員会議等での関連決議の改訂を受けて改訂するもの。	改訂
	SG1	決議66	IoTの開発のための無線方式と応用に関する研究	本決議内で参照されている他の決議名の更新改訂を行うもの。（決議（2014年釜山）を決議（改2018年ドバイ）に変更など）	改訂
	SG1 SG6	決議67	障害者及び特別なニーズを持つ人のための電気通信/ICTの利用しやすさ	本決議内で参照されている他の決議名の更新改訂を行うもの。（決議（2014年釜山）を決議（改2018年ドバイ）に変更など）【SG1からの提案】  放送サービスへのアクセス性改善に関するレポート及び地上デジタルテレビ放送のアクセス性改善に関するハンドブックを追記するもの。【SG6からの提案】	改訂
	SG5	決議50-3	IMTの継続的開発における無線通信部門の役割	IMTシステムが世界の経済的・社会的発展に貢献し、IMTを利用する産業分野へのニーズの高まりを考慮する旨、追記するもの。	改訂
	SG5	決議60-1	ICT/無線通信技術・システムの使用による環境保護及び気候変動の緩和のためのエネルギー消費の削減	本決議内で参照されている他の決議名の更新改訂を行うもの。（決議（改2012年ドバイ）を決議（改2016年ハマメット）に変更など）	改訂
	SG6	決議1-7	無線通信総会、無線通信研究委員会及び無線通信アドバイザーグループの作業方法	勧告及び研究課題のエディトリアルな改訂の簡略化手続きを追記するもの。	改訂

## SGから提出された決議案の承認（2）

	SG	文書	決議名	概要	種別
決議案	SG6	決議55-2	ITUの災害予知、検知、被害低減、救援に関する研究	緊急放送に関する勧告及びレポートを追記するもの。	改訂
	SG6	決議59-1	地上ニュース収集システムの使用の世界的／地域的調和のための周波数帯／同調範囲の利用可能性及び条件に関する研究	テレビジョン信号の伝送、ワイヤレスマイク、放送補助業務等のユーザ要求に関する勧告を追記するもの。	改訂
	SG6	決議 [ROLE OF ITU- R FORBS]	テレビ・音声・マルチメディア放送の進展における無線通信セクターの役割	放送の進展のための他セクターと連携した研究開発方針に関するもの。	新規
	SG6	決議 [FUTURE BROAD CASTING]	将来の放送の進展のための基本的考え方	将来の放送の進展のための研究方針や放送システムのデジタル化の基本的な考え方に関するもの。	新規

### 対処

RAにおいて審議される勧告案・決議案は、我が国としてもこれまでSGでの検討に参加し、策定に貢献した成果であり基本的に支持。

# 次研究会期における研究課題案の承認

## 次研究会期の研究課題案の例

周波数管理関連	【ワイヤレス電力伝送(研究課題210-3/1)】 ワイヤレス電力伝送の運用に最適な周波数帯やワイヤレス電力伝送システムの運用により無線業務が受ける影響等について研究する。
電波伝搬関連	【30MHz以上の周波数における地上放送、広帯域固定アクセス及び移動業務のための伝搬データと推定法(研究課題203-7/3)】 周波数等により影響される電界強度、多重路や時間・空間的統計について研究する。
衛星業務関連	【スペクトル／軌道の利用を改善するための技術方法(研究課題274/4)】 同じ周波数帯で運用し、かつ静止軌道(GSO)の近隣位置をもつ異なる衛星システム間の混信を軽減するために使用される地球局の技術などについて、研究する。
地上業務関連	【ITS(研究課題205-5/5)】 ITSの構成要素、機能、周波数要件等について研究する。
放送関連	【地上デジタル放送の高度化(研究課題133-2/6)】 地上デジタル放送の高度化技術や導入方策について研究する。
科学業務関連	【将来の協定世界時(研究課題244/7)】 将来の協定世界時の研究すべき事項を定める。

### 対処

RAにおいて審議される研究課題案は、我が国としてもこれまでSGでの検討に参加し、策定に貢献したものであり、基本的に支持。

# (参考) 無線通信部門における今期研究会期 (2016 - 2019) の研究体制

2019年9月現在

**全権委員会議PP**  
最高意思決定機関

(4年毎に開催)

**無線通信総会 RA**  
研究課題設定、勧告の承認等

(3~4年毎に開催)

無線通信部門 (ITU-R)

**世界無線通信会議 WRC**  
無線通信規則の改正等

**地域無線通信会議 RRC**  
地域における無線通信に関する協定等の協議

**会議準備会合 CPM**  
WRCの準備

研究体制	研究委員会 (SG)
<b>SG1</b> 周波数管理 議長: パスツーク(ロシア)	効率的な周波数管理の原則及び技術の開発、分配基準・方法、周波数監視技術、周波数利用の長期戦略等に関する研究
<b>SG3</b> 電波伝搬 議長: ウィルソン(オーストラリア)	無線通信システムの向上を目的とした、電離媒質及び非電離媒質中における電波伝搬並びに電波雑音特性に関する研究
<b>SG4</b> 衛星業務 議長: ホッファー(米国)      副議長: 河合 直行氏 (KDDI)	衛星業務に関する軌道/スペクトラムの有効活用、システム等に関する研究
<b>SG5</b> 地上業務 議長: フェントン(英国)      副議長: 新 博之氏 (NTTドコモ)	移動業務、無線測位業務、アマチュア業務及び関連するシステムとネットワークに関する研究
<b>SG6</b> 放送業務 議長: 西田 幸博氏 (NHK)	一般大衆に向けて配信することを目的とし、映像、音声、マルチメディア及びデータサービスを含む無線通信による放送(地上系)に関する研究
<b>SG7</b> 科学業務 議長: ズゼック(米国)	時刻信号及び標準周波数報時、宇宙無線システム、地球探査衛星システム及び気象に関する事項、電波天文業務等に関する研究

**RAG** 無線通信アドバイザリグループ  
議長: オバム(ケニア)  
ITU-Rの作業の優先順位及び戦略等の見直し、作業計画の進捗状況の評価

※ 下線は2期目